

—医師、歯科医師、薬剤師の皆さんへ—

知っているようで知らない世界 ～HbA1c 編～

日 時 2025 年 7 月 19 日 (土) 午後 5 時～

会 場 兵庫県保険医協会 5 階会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル/元町駅南へ徒歩 8 分)

講 師 遠別町国民健康保険診療所 院長 江橋 正浩 先生

* 講師来場での講演です。

来場定員 50 人 * 現地参加は必ず事前にお申し込みください。
お申し込み後のキャンセルもご連絡をお願いします。

参加費 無 料

HbA1c が、糖尿病の指標であることは、患者さんも含め、誰もが知っています。

ただ、「HbA1c とはなんなのか」とはっきり説明できますか？ HbA1c があるなら、HbB はあるのか、HbA1a や HbA1b はあるのか、と考えたことはありませんか？ HbA1c は臨床検査であり、「なんらかの方法」で結果が出されます。その「なんらかの方法」に何種類もあること、それぞれの方法ごとに良い点や欠点があること、その方法によっては結果に「ずれが生まれること」などをご存じでしょうか。

今回は、臨床検査専門医の研修中に課されたある宿題の提示から始めます。(下表参照)

僕自身、この宿題への答えを探る中で、誰もが知っている検査である HbA1c の、全然しなかった一面をみることになりました。皆さんにも、知っているようで知らない HbA1c の面白く、奥深い世界をご案内いたします。【江橋 記】

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840 まで

GA 20%

HbA1c HPLC 法 9.5%

免疫法 9.0%

この患者はどんな病態？

【Zoom 視聴の申し込み ※会員のみ】

右の URL または QR コードから
お申し込みください。案内メール
が送付されます。

<https://x.gd/nM58Q>



【来場参加の申し込み】 fax 078-393-1820

郡市区 _____

医療機関 _____

お名前 _____

職種 _____

Tel _____

Fax _____